◆2020年 中学入試算数 講評【桜蔭】

今年も例年と同様、大部分が思考力を問われる問題でした。と同時に、例年通り長文の意味をくまなく読み取ることを含め、計算や処理が早く正確にできるかも要求されます。

さらに、過去多く出題されたものの近年出題されていなかった、難度の高い立体の問題も出題されました。

男子校共学合わせでも最高レベルですが、女子校の中では、特に群を抜いてタフな問題と言えるでしょう。

大問1 小問集合

(2)では、お店で食べた場合10%、持ち帰る場合8%の消費税が課されることを背景とした、タイムリーな問題が出題されました。難易度自体は高くありません。

大問3

四面体の体積や表面積を求めることが主題ですが、前者では解けるような立体に分解して考えること、後者では三角形の底辺や高さを正しく認識することが難解な、最高難度の問題でした。

大問4

ゆっくり時間をかければそこまで難しくない整数、場合の数の複合問題ですが、限られた時間内に、複雑な条件を全て把握し、ミスなく解き切るのは非常に手強いでしょう。